

消えた歌の風景 PART2

忘れてたくない21の童謡・唱歌

内館牧子 著

本体 1600 円

A5判変型 176 頁

本文・絵+歌詞

カラー頁入り

エッセイ

新刊委託

(番線印)

(発注者 様)

予約部数

冊

『消えた歌の風景 PART 2
忘れてたくない21の童謡・唱歌』

内館牧子著 清流出版 本体1,600円
ISBN 978-4-86029-524-0

脚本家・内館牧子がつづる、懐かしい歌に思いをこめたエッセイ

「どこかで春が」「宵待草」「里の秋」「ふじの山」……。歌い継いでいきたい四季折々の古きよき歌。

歌は、多くのことを私たちに教えてくれる。



とんぼのめがね



たなばたさま

内館牧子(うちだて・まきこ)●1948 年秋田市生まれ、東京育ち。武蔵野美術大学卒業後、13 年半の OL 生活を経て、1988 年脚本家としてデビュー。テレビドラマの脚本は「ひらり」(1993 年第 1 回橋田壽賀子賞)、「毛利元就」(1997 年 NHK 大河ドラマ)、「小さな神たちの祭り」(2021 年アジアテレビジョンアワード最優秀作品賞)など多数。小説家、エッセイストとしても活躍。2000 年より 10 年間、女性初の日本相撲協会の横綱審議委員を務める。2003 年、大相撲研究のために東北大学大学院に入学、2006 年 3 月修了。著書に『終わった人』『すぐ死ぬんだから』『今度生まれたら』(すべて講談社)、『小さな神たちの祭り』(潮出版社)、『男の不法法』『女の不法法』(共に幻冬舎)、『消えた歌の風景 PART1』(清流出版)など。

ご予約締切 4/22 (金) までにご連絡ください。 清流出版 営業部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 TEL 03(3288)5405 FAX 03(3288)5340

